

川崎市・相模原市とともに特別市を目指します 横浜市が神奈川県から独立する議論が白熱!

8月1日、横浜市会に福田紀彦川崎市長を招き『横浜・川崎・相模原 指定都市サミット in 横浜』を開催しました。黒川市議は横浜自民党の政調会長として、山下幹事長とともに開催に向けて川崎・相模原の政調会長や横浜市の大都市制度推進本部と何度も打ち合わせを重ね、当日は約70名の横浜・川崎・相模原の市議会議員と、各市の職員、一般の市民が集まり、ZOOMによる配信も行いました。

7月27日には横浜市役所で横浜・川崎・相模原の3市長が特別市を目指しての共同記者会見、28日には自治会館で県知事市長会があり、そこでの説明や議論を受けて今回の開催でした。

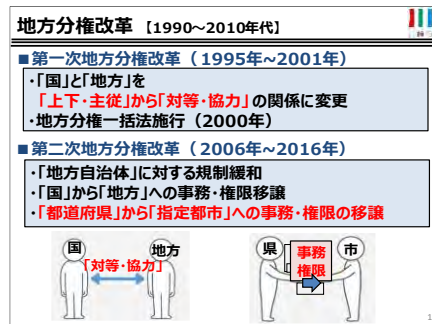


福田紀彦川崎市長が横浜で講演

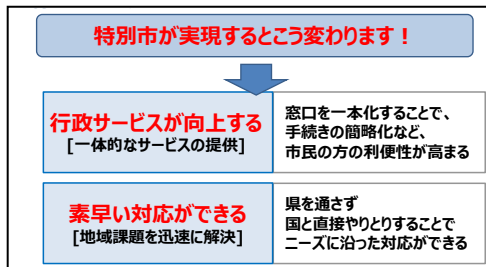
開催地自治体として横浜自民党の鈴木団長、山中横浜市長の挨拶、本村相模原市長のビデオ挨拶に続いて福田紀彦川崎市長が講演を行いました。

『特別市実現のために』と題した福田市長の講演は、戦前の東京・横浜・大阪・名古屋・京都・神戸の六大市と、六府県との確執から始まり、当時から1.事業が多

いのに県から財源が来ない 2.県と市の事務が重複し無駄 3.国と県の両方から監督され対応が遅くなる 4.県に権限があり現場に即した行政が出来ない などと、百年経った今も課題は解消されていません。



その後、2000年の小泉改革で地方分権改革一括法が成立し、自治体の自治権が拡大します。県からは都市計画の整備・開発・保全、市立学校の教員の給与や配置、大災害時の救助実施市の指定などの権限が移譲されましたが、指定都市の要望はなかなか受け入れられず、県と指定都市との調整会議もなかなか開かれませんでした。



権限移譲が進まなければ、特別市制度が現実的な解決策です。高齢化や人口減少、デジタルの進展、気候変動による風水害の頻発などを考えると、大都市が独自の政策を迅速に進め、日本経済を牽引し

ていくには今が最後のチャンスだと、福田市長は力説しました。

講演に続いて3市の政調会長である川崎の青木氏、相模原の古内氏、横浜の黒川氏と福田市長とのディスカッションが行われました。



山下正人幹事長が議論を好リード

黒川政調会長は、大都市特有の課題は特別市に任せて、県はそれ以外の市町村（人口320万人）に対して総合調整機能を発揮すべき 財源は国の交付金で調整が図られるので問題ない 崖・河川・道路などの管轄が一元化され市民への対応が迅速化する 区役所の役割が強化されて区の個性ある発展が期待できるなどのメリットが示され、地域の住民のみなさん、法律を制定する国会議員、そして神奈川県議会に理解を求める努力が必要だと力説しました。

最後に、川崎の大島幹事長による『指定都市サミット横浜宣言』が採択されてサミットは閉幕し、翌日の新聞にも掲載されました。



3市の議員が多数参加しました

早稲田大学で横浜自民党の取り組みについて講演

7月14日、早稲田大学の井深大記念ホールで、マニフェスト大賞キックオフ大会が開催されました。以前にマニフェスト大賞最優秀賞を受賞経験のある黒川市議は、バルセロナで実施されているシステムを活用した横浜自民党の取り組み『横浜みらい創生プラットフォーム』の取り組みについて以下の内容の講演を行いました。

よこはま自民党による
市民参加型プラットフォーム
Decidim
による政策実現に向けた取り組み


Decidim
LDP Yokohama

横浜みらい創生プラットフォーム

議会・会派としてのDecidimの活用は
日本で初めての試みです！

自民党横浜支部連合会
自民党横浜市会議員団
政務調査会長 黒川 勝

<https://jlmnyokohama.decidim.jp>



昨年の6月に制定された議員提案条例の『横浜市脱炭素条例』に則した脱炭素政策の提案を、インターネット上の『横浜みらい創生プラットフォーム』に登録いただいた市民の皆様から、たくさんいただきました。いただいた政策提案に対して公開メールで議員と市民で議論をしたのちに、提案者に集まっていたいで政策を絞り込み、市民からの提案をさらにブラ

ラッシュアップし、38件の提案を8件に絞り、秋の決算特別委員会で各議員が当局に質問を行い、令和4年度予算には、新設ごみ処理工場への最先端設備の導入、国際プール再整備での太陽光発電の導入、脱炭素・省エネ設備投資資金助成金制度の拡充、鶴見末広地区の脱炭素モデル地区化、ごみ焼却炉発電で18区役所の電力を賄う、食品ロス削減の行動変容促進の6つの政策が予算化され、太陽光発電と蓄電池の普及、深谷米軍跡地公園の再エネ化、市内全小学校でのエネルギー地産地消と教育啓発などが今後の事業化に向けて検討されることになりました。

これらの成果を受けて来年の横浜市議員選挙に向けたマニフェストの策定に『横浜みらい創生プラットフォーム』を活かそうと、市民とともに作る横浜自民党マニフェストの検討を進めています。



久々に早稲田大学で講演をしました
講演後には会場から多くの質疑があり活発な議論がありました。



活発に質疑も
行われました

ほかにも取手市議会のDX、町田市議会の議案カルテ、公明党岡山市議団の会派マニフェストなど、全国の取り組みが紹介され「先進的な地方議会が連携して日本の政治を変えていこう」と主宰者の北川正恭早稲田大学名誉教授からのエールで締めくくられました。



全国の議員仲間が
財産です

横浜市長に直談判！

国の臨時地方交付金への対応を迅速かつ効果的に実施し、ひとり親家庭や原油高が直撃する業界などを支援するよう、黒川勝政務調査会長は鈴木団長らと要望書をまとめ、山中市長に提出しました。



市長の能力とは迅速な対応力ですが

ウクライナから来た 子供たちのために

横浜市内在住のウクライナ人を頼って避難してきた親子のために横浜市国際交流協会に『ウクライナカフェ』が出来ました。言葉や住居、就労の課題などはありませんが子供たちの笑顔のためにしっかり支援してまいります。



子供の笑顔は
世界共通

横浜市が議会改革度政令市第1位に

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年発表する議会改革度調査2021で、横浜市が全国の政令市でも神奈川県内の県市町村議会でも、前年の3位からついに第1位となりました。議会資料のオンライン配信や、リモートでの委員会開催など議会運営のデジタル化が高く評価されました。横浜市議会運営委員長として、詳細に精査してエ

ントリーに取り組んだ黒川まさる市議は「今後も不断の改革を進めていく」と、力強く抱負を語りました。

横浜市が昨年から2ランク上げトップ。総合300位以下の議会は、昨年の15議会から増え、16議会となった。

順位	議会名	順位	議会名	順位	議会名
1	神奈川県 横浜市会	11	千葉県 千葉市議会		
2	京都府 京都市会	12	福岡県 福岡市議会		
3	大阪府 堺市議会	13	熊本県 熊本市議会		
4	愛知県 名古屋市会	14	新潟県 新潟市議会		
5	神奈川県 川崎市議会	15	宮城県 仙台市議会		
6	福岡県 北九州市議会	16	神奈川県 相模原市議会		
7	広島県 広島市議会	17	静岡県 静岡市議会		
8	大阪府 大阪市会	18	埼玉県 さいたま市議会		
9	兵庫県 神戸市会	19	北海道 札幌市議会		
10	岡山県 岡山市議会	20	静岡県 浜松市議会		

金沢区の長浜検疫所に残る1号停留所 登録有形文化財の保存・活用を



金沢区長浜にある、厚生労働省の長浜検疫所には、明治時代に海外から客船で日本にきた訪問者が感染症を日本に持ち込まないように、4週間の隔離生活を過ごした『1号停留所』という日本最古のホテル建築と言われる美しい建物が登録有形文化財の指定を受けて現存しています。

この建造物の保存運動をしている『野口英世顕彰会』のみなさんとともに黒川市議は署名活動に取り組み、昨年は5000筆近い署名を横浜市の教育委員会と厚生労働省に提出しました。

厚生労働省は、長浜検疫所が新港埠頭に新設される合同庁舎に移転になることを受けて、この施設周辺の所有

地を処分して、その財源で移転費用と『1号停留所』の保存資金に充てる予定だと黒川市議は伺い、自民党の厚生労働委員長を務めた松本純氏や島村大厚生労働政務官にも働きかけ、横浜市と厚生労働省の間で具体的な保存や活用方法について折衝が行われました。

現在の場所に残す場合、解体して別の場所に移転する場合、一部のみ残して保存する場合など、いろいろな手法が経費も含めて検討されるとともに、登録有形文化財の指定の是非なども課題となりました。最も現実的な方法としては、移転先を横浜市が用意をした上で、解体して移築するという手法です。



長浜ホール周辺や金沢区内各地の公園の敷地内など、様々な候補地が検討されていますが、明治初期に感染症が日本に侵入することを防いだ施設として、新型コロナウイルス感染症が拡大した当初に巨大客船が停泊した横浜だからこそ、この施設を金沢区内に保存して、感染症の歴史や対策を啓発できるような施設となれば意義深いのではないかと、黒川勝市議は、保存運動に協力しています。



海洋議員連盟の副会長に就任

JAMSTIC海洋開発研究機構の事業所がある、八戸市・むつ市・横浜市・横須賀市・静岡市・神戸市・那覇市の議員で構成する『我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟（海洋議連）』の総会が横浜で開催されました。横浜市の拠点は金沢区にあり『地球シュミレータ』を活用して温暖化や気候変動などを研究しています。総会後には、日高弥子博士による海洋ゴミの研究、『ちきゅう探検クラブ』の成果発表がありました。

黒川勝市議は、この総会で副会長に選任され「国土面積は世界で61番目だが、排他的経済水域を含めれば世界6位の海洋大国が日本。豊かな海洋資源を維持し、地球環境を守り、海上貿易を活性化させるのが私たち海洋都市の役割です。八戸市議の坂本会長とともに海洋大国日本の船頭役を務めてまいります。」と、締めめの挨拶をしました。



ぶんこのこんぶとアマンドリーナ

小指の爪ほどのコンブの芽が3か月で2mに成長する『ぶんこのこんぶ』や、柴町の果樹園で間引きした青みかん、釜利谷の永嶋農園のシイタケなどから作る『金沢八味唐辛子』を開発・販売するアマンドリーナの奥井奈都美さんは、地産地消の生産者と消費者をつなぎ、六次産業化する社会起業家です。地産地消や安心安全な『食』をテーマに繋がる女性たちの活躍に黒川勝市議は注目しています。



安倍晋三元総理が私たちに遺してくれたもの

事件2日前
たまプラーザでの
街頭遊説

参議院選挙が終わった直後に、金沢区内で黒川勝市議が行った演説原稿を抜粋し掲載いたします。

今回の参議院選挙では、自民党の2人の候補者を当選させるために精一杯頑張り、三原じゅん子さんがトップ当選、浅尾慶一郎さんも当選させることが出来ました。

しかし、投票日の前々日、安倍晋三元首相が凶弾に倒れるという痛ましい事件が起きました。私たち政治家にとって街頭遊説は、選挙の日常の風景です。総理大臣経験者の街頭遊説は、私も麻生太郎元総理の金沢文庫西口での街頭遊説の際に何日も前から地元の警察署と話し合い、選挙カーの後ろに人は入れず、多くの私服警官やSPが警備に目を光らせていました。この平和な国である日本で、あのような事件が起きる衝撃、ショックは言葉に出来ません。

私が初めて選挙に出馬した時の総理大臣は安倍総理でした。その後、5人の総理大臣が毎年入れ変わった後に自民党は政権を奪還し、安倍総理の本格政権へと続きます。

私に安倍総理が遺してくれた言葉は「美しい国、日本」というシンプルな言葉です。初めて横浜市議員になり、戦後最も若い総理・総裁とともに希望に燃えて政治の道を歩み始め、自民党の政治家として、信念をもって信じる道を歩み続け、言葉で伝え、政策を実現させてまいりました。

事件のあった金曜日午後の活動は止まりましたが、テロには屈しないという岸田総裁の言葉を受け、参議院選挙最終日、私は金沢文庫駅の西口に立ち、党の政策集を配布しました。「おはようございます。」という言葉は出てくるのですが「私たちはテロには屈しません。」と言おうとすると胸が詰まり、涙が浮かび、言葉になりません。何度もチャレンジしてようやく言えましたが、



最終日は市内各地を巡って両候補を応援し、大船駅前でもマイク納めでした。私にもマイクが渡され「安倍総理が遺してくれた美しい国日本という言葉に胸に、みんなで日本の政治を前に進めてまいりましょう。」と叫び、すずなりの聴衆からの拍手で私の参議院選挙は終わりました。

戦後最長の在任期間を務めあげた元総理大臣の壮絶な最期にあたり、国葬として感謝の思いを捧げることに異論が出ることは残念な思いしかありません。しかし、私自身は、謹んで安倍晋三元総理のご冥福を祈り、いただいたご指導とその功績に感謝を申し上げ、美しい国日本、美しい都市横浜のために、これからも全身全霊をかけて取り組んでまいりますことを誓わせていただきます。

市役所のアトリウムで

子供たちがダンス!

金沢文庫のワッツアップスタジオの発表会『ヨコハマダンスサミット』が開催されました。明るくてオープンな市役所のスペースで、多くの金沢区の子供たちが元気いっぱい踊っていました。黒川勝市議は、子供たちの活動をしっかり応援していくと語りました。



市役所の市民活用を積極的に進めます

初当選から15年となりました

平成19年の初当選以来、6人の同期生と一緒に4期連続当選し、横浜市の発展ために尽力された黒川市議です。引き続き横浜市政を改革し続けます。



鉄の団結4期生



ダブル当選に感謝です



小泉進次郎県連会長は子供にも大人気

市民に開かれた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさる横浜市議員に対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

お名前・ご連絡先

返信 FAX 045-786-4310 または masaru-knet@hb.tp1.jp いただいた連絡先は、返信以外には使用いたしません。